

「クリニカルラダー作成・評価」 について

 医療法人ひまわり会 中洲八木病院
看護部長 花本英美 
看護副部長 阿部さつき



昭和48年 3月 3日 八木整形外科(19床)南 昭和町開院
昭和52年11月12日 八木整形外科病院(106床)中洲町開院
平成11年11月11日 「中洲八木病院」 名称変更(105床)

関連施設



平成17年 9月21日 グループホーム ひまわり
デイサービスセンター ひまわり
平成29年4月1日 中洲八木病院通所リハビリテーション(短デイ)
平成30年4月1日 中洲八木病院居宅介護支援事業所
平成31年4月1日 中洲八木病院訪問看護ステーション

関連施設



ジラソーレ大松

平成26年 11月 1日
サービス付き高齢者向け住宅 ショートステイ
デイケアセンター 居宅介護支援事業所
ヘルパーステーション 八木クリニック

関連施設



昭和62年10月 医療法人社団うしお会 八木病院(南あわじ市)
 平成11年 3月 居宅介護事業所 八木病院
 平成16年10月 八木病院通所リハビリテーション
 小規模多機能型居宅介護 あつとホームくにくみ
 グループホームおのころ

関連施設



社会福祉法人 淡路島福祉会 24施設

診療科目

整形外科	リハビリテーション科	
脳神経外科	糖尿病内科	内科
循環器内科	外科	心臓血管外科
リウマチ科	美容皮膚科	人間ドック

診療時間

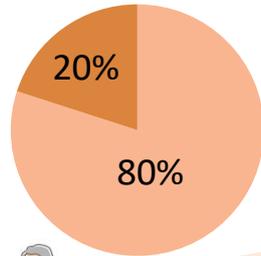
月～金曜日	9:00～12:00	14:00～19:00
土曜日	9:00～12:00	14:00～17:00

入院機能

105 床

回復期リハビリテーション 病棟	53 床	回復期
医療療養病床	17 床	慢性期
地域包括ケア病床	35 床	急性期

リハビリテーション



回復期・地域包括
365日リハビリ

大腿骨近位部骨折の手術



大腿骨頸部骨折	43例
その他骨折の手術	53例

令和 元年実績より

病院理念：親しまれ信頼される病院に

基本方針：1.地域医療に貢献します。

2.患者様中心の信頼と安心の医療を提供します。

3.技術・知識の向上を常に心がけ誠心誠意努力します。

看護・介護目標：笑顔を忘れず、常に温かい心で患者様の立場に立った看護、介護に努めます。



令和元年度 学会実績

部署別研修費制度

看護部 年間予算75万円
 ・看護師 54名
 ・看護補助者 29名

回復期 リハ病棟協会	回復期リハ病棟学会研究大会(発表:1名)
日本慢性期 医療協会	徳島県慢性期医療大会 (発表:3名)
	日本慢性期医療大会 (発表:2名)

クリニカルラダー

- ・看護師の能力開発・評価
- ・看護師の看護実践能力を段階的に表す
- ・到達度により看護師の能力を示す
- ・自己研鑽や人材育成を目指す

目的

1. すべての看護師に共通する看護実践能力の指標の開発と支援
2. 看護実践能力の適切な評価
3. 患者への安心で安全な看護ケアの提供

クリニカルラダーの作成・取り組み

平成22年クリニカルラダーを導入

- ・レベル I ~ IV
- ・年2回の評価(個人・師長)
- ・年2回の面接

クリニカルラダーの課題

- ①十分に活用されておらず取り組みが不十分
- ②個人の評価が反映されていない
- ③教育・研修に活かされていない
- ④評価が十分でなく、課題が見出せていない
- ⑤病院理念、看護目標、病棟目標を通じての視点となっていない

日本看護協会

「看護師のクリニカルラダー活用のための手引き」

1. 開発の経緯
2. 導入・活用編
3. 学習内容編
4. 施設における活用例編

看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)
(以下JNAラダー)



初回

看護協会 : 5月29日打ち合わせ
AWAナースサポートセンター

篠原 静先生来院

第1回 6月 5日 第2回6月19日
第3回 7月10日 第4回7月31日
第5回 8月21日 合計5回

時間: 14:00~16:00

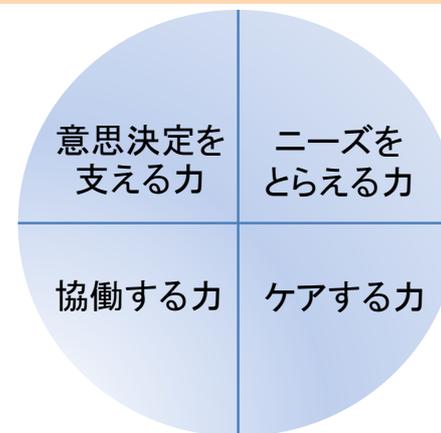
場所: 中洲八木病院 地下会議室

出席者:看護部長・師長2名・主任4名

第1回

- ・看護部の把握
(勤務体制・看護部目標
教育、研修体制 等)
- ・新しくラダーを作成 → 現状把握
- ・どのように進めていくか？

看護実践能力の核 4つの力



・各項目(4つの力)

目標・行動目標

評価内容 → 10~30項目

・看護職員の基本姿勢

管理・役割・責務・倫理

人間関係

教育・研究



第2回・第3回・第4回

看護師



評価内容が適切?
次回までの課題

先生



確認・評価・指導

クリニカルラダーマニュアル見直し

(目的・活用方法・評価時期・評価基準)

	段階の表現	内容
A	よくできる	自ら取り組み実践できる
B	できる	一通りできる。少しの支援(10%~30%)を受ければ出来る。
C	努力を要する	50%以上の支援を受ければ出来る。
D	非常に努力を要す	全面的な支援を必要とする。
N	実施の機会がなかった	実施の機会がなかった

レベルの到達状況を確認 評価する体制・時期

時期	クリニカルラダー I~IV	実施内容	評価者	方法	総合
5月		めざすレベルを確認			1年かけて 部長面談
6月		目標・評価	本人・主任 師長	面談	
7月					
8月					
9月		レベルの到達に向けて 実践・OJTを日々積み重ねる			
10月					
11月					
12月		レベルの評価次年度に向けて の課題の整理	本人・主任 師長	面談	
1月					
2月		看護師のレベルの到達状況 情報集約	主任・師長	主任・師長会	
3月		次年度教育研修検討			

第5回

ラダー実施 → 分析

得意・不得意を見極める
本人の強み、弱みをとらえる
弱い、不得意 → 研修
面接でフィードバック
見えてきたものが現実に把握できる

課題

- ・退院支援について
- ・災害時の対応
- ・緊急時の対応
- ・教育研究

まとめ

看護実践能力の支援
人材育成